

# 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞「銅賞」

## 税への理解

加須市立加須平成中学校

三年 小林 夢乃

税金は高い、何にでも税金がかかる等税金という言葉はよく耳にしますが、あまり良い印象ではありませんでした。

今回この作文を書くにあたって”税“について色々と調べることにより税への理解が深まりました。

まず、私も払っている消費税は昔はなかったそうですが、今では買い物をするときあたり前に支払うものというイメージです。小さな買い物ならあまり気になりませんが、大きな買い物をする時、税金だけでもすごい額になってしまいます。身近にあり毎日のように支払い一生付き合っていくそれが消費税です。他にも、働いている人が給料の一部を支払う所得税、住んでいる市町村へ納める住民税や関税、自動車税など、私達の生活の中にはたくさん税金が関わっています。

これだけたくさん税金がどのようなに使われているのか、今まで考えた事ありませんでした。

母に税金の話をしてみると、

「私のお給料も税金から支払われているんだよ。」

と教えてくれました。母は障害者の方が住むグループホームに勤めています。税金から給料をもらえる職業は市役所の職員や警察官等公務員の給料になる事は知っていましたが、介護や福

祉の様々な所で使われている事を知りました。

詳しく調べてみると、税金と少子高齢化の問題が深く結びついているという事を知りました。高齢者の方へ支払われる年金はもちろん税金です。今まで、一生懸命働き日本を支え続けてきた高齢者が年金暮らしをして、幸せな余生をすごすのは当然の権利です。しかし、今の現状では、高齢者を支えきれないという事です。

20歳から64歳人口の65歳以上人口に対する比率では、2000年は一人の65歳以上の方に対し20歳から64歳までの方3.6人、2025年には1.8人、2050年には1.3人になるそうです。つまり、2050年には私一人が65歳以上の方一人を支えていくという事になります。このままでは将来大変な事になってしまいます。私達若い世代が今後どうしていくべきなのか、私には何が出来るのかしっかりと考えていかなければならないという事を学びました。

今までマイナスなイメージを持っていた税金ですが、調べるうちに支払う事より私達の生活を支えてくれるなくてはならないものだと思えました。義務教育や給食があるから私達は皆同じく生活をする事が出来ます。何不自由なく生活が出来るのは、税金によって社会に支えられています。私に出来る事を将来にむけて考えていくこと、そしてしっかりと納税していきたいです。理解を深めることにより多くの事を学ぶことが出来ました。